

EXPO 2027 YOKOHAMA JAPAN

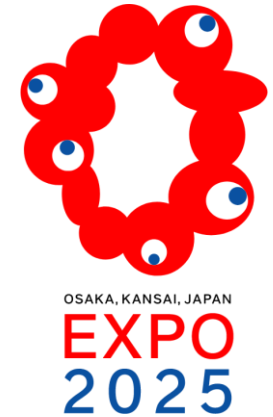
サステナビリティに関する大阪・関西万博、 東京オリパラの事例

大阪・関西万博、東京オリパラ、GREEN×EXPO 2027の概要



名称	2025年日本国際博覧会 (略称：大阪・関西万博)	東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会（東京オリパラ）	2027年国際園芸博覧会 (略称：GREEN×EXPO 2027)
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン	スポーツには世界と未来を変える力がある (大会ビジョン)	幸せを創る明日の風景
開催者	公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会	公益財団法人東京オリンピック・ パラリンピック競技大会組織委員会	公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会
開催地	大阪府大阪市	東京都内を中心に43会場	神奈川県横浜市
開催期間	2025年4月～10月	2021年7月～9月	2027年3月～9月
参加者数	想定来場者数：約2,800万人	想定観客・スタッフ数：約1,000万人 (コロナにより延期・無観客開催)	参加者数：1,500万人 (地域連携やICT活用などの多様な参加形態を含む) 有料来場者数：1,000万人以上
予算	会場建設費：1,850億円 (現時点。増額見込み) 運営費：809億円(現時点)	1兆4,238億円(最終報告)	会場建設費：320億円 運営費：360億円

大阪・関西万博 持続可能性に関する取り組み



「持続可能性有識者委員会」

※2021年12月設置

カーボンニュートラルなど持続可能性の観点から配慮すべき分野などについて、専門的見地から意見及び提案を行うと同時に、持続可能な万博運営に関して議論を行う



「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針」の策定

※2022/4/27公表



持続可能性方針に沿って、必要となるビジョン・ガイドライン等を策定

脱炭素・資源循環に配慮した万博を実現するため
「EXPO 2025 グリーンビジョン」策定・具体化

※2022/4/27改定版公表

適切な調達を進めるため
「調達コード」策定・運用
(2023年7月第2版公表)

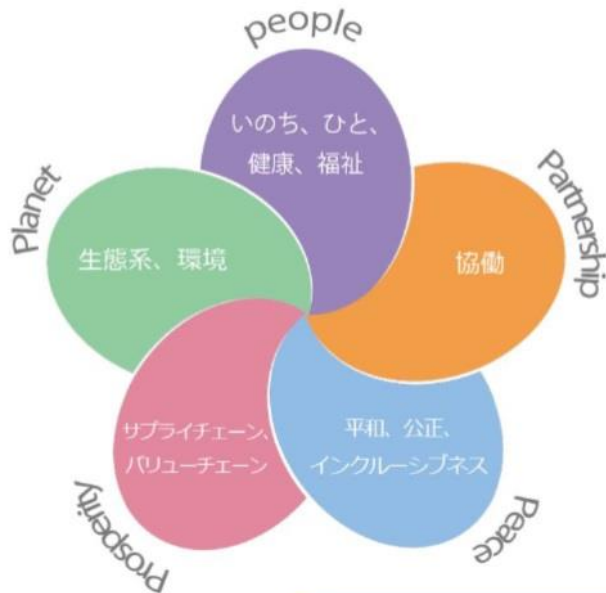
...

持続可能な大阪・関西万博開催にむけた行動計画（第1版）（2023年4月公表）

「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針」（持続可能性方針）の概要



大阪・関西万博は、その運営においてもSDGs達成を実現するため、環境や社会への影響を適切に管理し、持続可能な万博の運営を目指す。



People（いのち、ひと、健康、福祉）

生態系を構成するすべての「いのち」を守り育てることの大切さを訴求する。

Planet（生態系、環境）

国際的合意（パリ協定、大阪ブルー・オーシャン・ビジョン、昆明・モンリオール生物多様性枠組）の実現に寄与する会場整備・運営を目指す。

Prosperity（サプライチェーン、バリューチェーン）

「もの」だけでなく、「生活」を豊かにし、可能性を広げることにつながる社会や環境に関する知見をレガシーとして、次世代に継承する。

Peace（平和、公正、インクルーシブネス）

多様な人々が積極的に、また安心して参加できる環境を整えるとともに、大阪・関西万博からテーマに基づく多様な考え方を発信できるよう、一人一人を尊重したインクルーシブな万博運営を目指す。

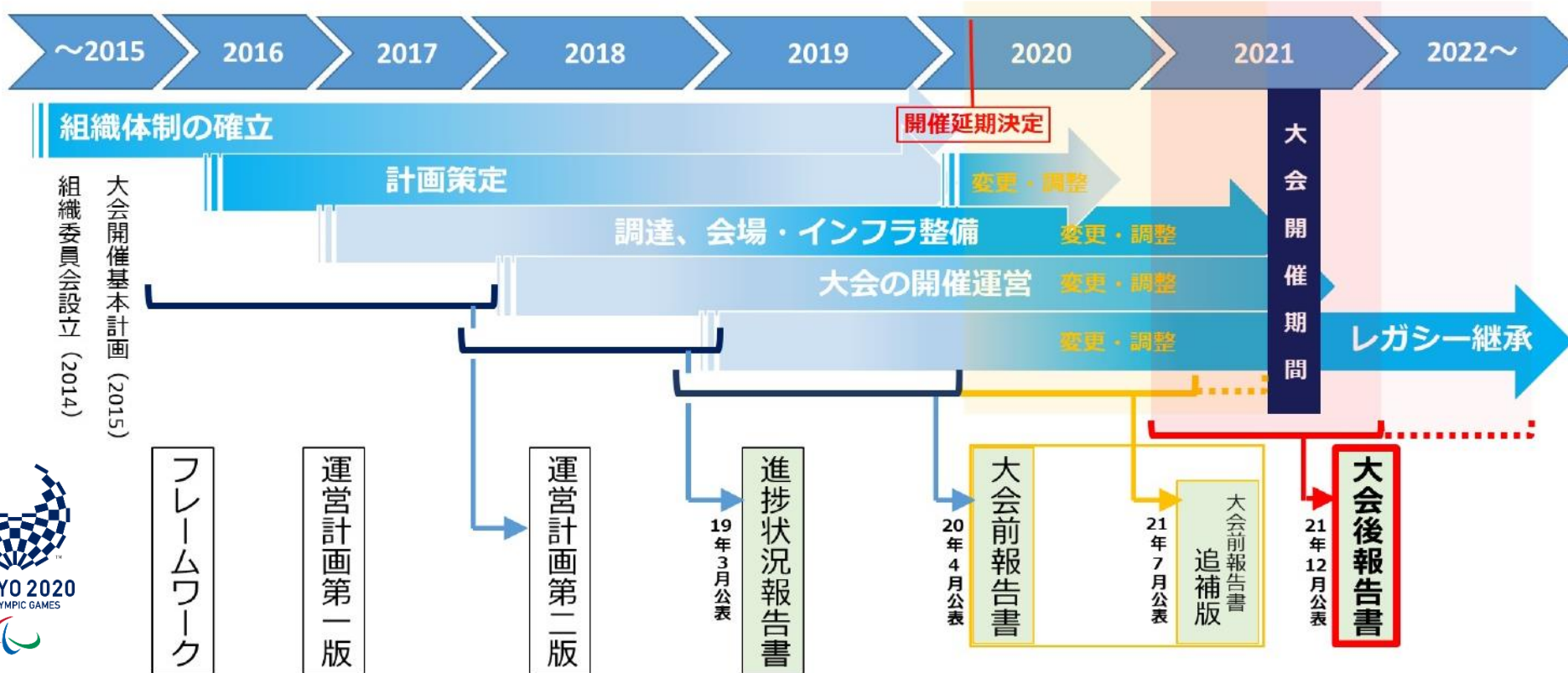
Partnership（協働）

誰もが参加でき、自由にアイデアを交わせる機会を提供する。その中で一人一人がつながりコミュニティが形成されることを目指す。

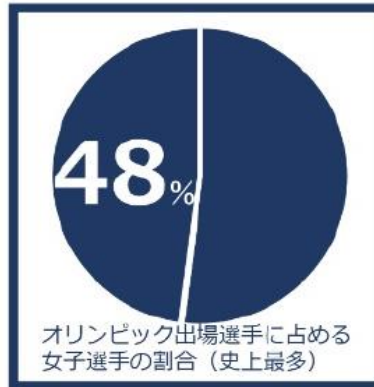
持続可能性有識者委員会でご議論いただき、2022年4月27日に決定、公表した「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針」に基づいてマネジメントシステムを構築。

東京オリパラ 持続可能性報告の体系

- 大会の準備・開催のフェーズの進行に沿いながら、運営計画及び3つの報告書により大会の持続可能性の全体像を提示
- **持続可能性大会後報告書は、大会後に明確になる取組結果や大会から得た学び・気づき等を報告し、大会の持続可能性を総括**



東京オリパラ 持続可能性の主な取組結果



大阪・関西万博、東京オリパラの各事業の取組状況①



項目名	大阪・関西万博	東京オリパラ
①生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> 環境アセスメントの実施 持続可能な調達コードでの生物多様性への配慮 NGOとの意見交換の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 環境アセスメントの実施 持続可能な調達コードでの生物多様性への配慮
②水環境	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店において水質汚染対策を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 公園等で水辺を創出
③脱炭素	<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルの達成（Scope1,2） 	<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルの達成（Scope1,2）
④エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの利用率100% 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの利用率100%
⑤公害対策	<ul style="list-style-type: none"> 低公害型建設機械、施行方法の採用 	<ul style="list-style-type: none"> 低公害型建設機械、施行方法の採用
⑥廃棄物と解体	<ul style="list-style-type: none"> 資源循環に係る原則を設定 	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロス・廃棄物の再利用、再資源化
⑦建設 (製造者・建設業者及び建設)	<ul style="list-style-type: none"> パビリオンの建築時の資源循環・3Rに関するガイドラインの策定 	<ul style="list-style-type: none"> パッシブデザインの導入
⑧デザイン ・計画	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインガイドラインの策定 「多様でありながら、ひとつ」という会場コンセプトに沿ってトイレ、休憩所等を若手建築家がデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインガイドラインの策定

※1：複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス

出典：大阪・関西万博「[EXPO 2025 グリーンビジョン](#)」、東京オリパラ「[持続可能性に配慮した運営計画 第二版](#)」

大阪・関西万博、東京オリパラの各事業の取組状況②



項目名	大阪・関西万博	東京オリパラ
⑨交通・会場内移動	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセスルートの設定 ・交通需要マネジメントの実施 ・EVバスの導入 ・パークアンドライドの実施 ・MaaS※¹や自動運転などの新たな移動サービスの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセスルートの設定 ・交通需要マネジメントの実施 ・混雑予想ポータル¹の運営 ・低公害型の輸送車両の導入
⑩海外からの参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教・文化に配慮した施設、食事の提供 ・多言語への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教・文化に配慮した施設、食事の提供 ・多言語への対応
⑪持続可能なイベント運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO20121※²に則したサステナビリティマネジメントシステムの構築 ・持続可能性に配慮した調達コードの策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO20121に則したサステナビリティマネジメントシステムの構築 ・持続可能性に配慮した調達コードの策定
⑫レガシー	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者、市民の脱炭素取組を促す「EXPO グリーンチャレンジ」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国各地の「東京2020アクション&レガシープラン」に寄与する取組への支援の実施

※1：複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス

※2：イベントの持続可能性に関するマネジメントシステムの国際認証